

飛鳥

A S U K A

飛鳥とクルーズを愛する人のための
クラブマガジン

NO.98 WINTER

飛鳥

A S U K A
飛鳥とクルーズを愛する人のためのクラブマガジン
W I N T E R NO.98

2018年11月30日発行

発行/郵船クルーズ株式会社 ASUKA CLUB事務局
〒220-8147 横浜西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー7F TEL.045(640)5302
発行人/坂本 潔
ホームページ <https://www.asukaclub.co.jp/>




ASUKA CLUB



飛鳥IIが生まれた街、長崎

女神大橋をくぐると、長崎の街が見えてくる。
山の頂上付近まで家が建ち並ぶ、坂の街だ。
鎖国時代も日本で唯一世界に開かれていた長崎港。
ここから様々な外国文化が日本にもたらされ
長い歴史の中で中華街も洋館も街に調和していった。
左手に見えるのは、三菱重工長崎造船所。
後に飛鳥IIとなったクリスタル・ハーモニーも
初代飛鳥もここで誕生した。
氷川丸以来、約30年ぶりに白地に赤線二本の
「二引き」をファンネルに持つ客船の復活だった。
造船所に挨拶するように、くると優雅に回頭して
着岸した飛鳥IIの横顔は、いつもより凛として見えた。

波の間に間に、日本再発見

Rediscovery of Japan

photo by Tetsuya Oomuro

VACANCES

もっとお休み
しませんか？

飛鳥IIの休日

ASUKA II

特集◆ゴールデンウィーク サイパン・グアムクルーズ

世間では、日本人は働き過ぎだ
休むのが下手だ、などと言われています。
でも、本誌の読者の皆様は最高の休み方をすでにご存じですよね。
ゴールデンウィークは普段は長期休暇が取れない現役世代も
ロングクルーズの気分を楽しめるチャンスです。
飛鳥IIでもっとバカンスしてみませんか？

DAY and Night



非日常だからこそ 何でもできる自由

さて、午後は何をしようかな。ぶらぶらとプールの方へ歩き出す。青空の下、子どもたちの歓声と水しぶきが上がる。プールサイドには、一足先に南の島がやってきたみたいだ。

船内で偶然に再会した船友と、デッキリームに参加することにした。大人たちが童心にかえってシャッフルボードに興じている。「もう少しで勝てたのにね」と話しながらスポーツデッキから航跡を眺める。

青が一段と鮮やかになってきた海に、まっすぐ航跡を描きながら飛鳥IIは南の島へ向かっている。早く目的地へ着いて欲しいような、このままずっと海の上にいるような気持ちになる。

ダイナーの前に、今回のクルーズで楽しみにしていたAVEDAへ。普段の生活ではめったにしないことも、クルーズでは思い切ることができるから不思議。非日常だからこそ、飛鳥IIには何でもできる自由がある。



腕時計をはずして

何もしない 自由を味わう

東京湾を出た飛鳥IIはサイパンへ向かって一気に南下していく。翌朝目覚めて、キャビンのバルコニーに出てみると、すでに空気が変わっているような気がする。サイパンに着くのはまだまだ先。腕時計をはずして、3日間の終日航海を思いっきり退屈してみよう。目覚ましもかけないのに、いつもより早起きしてみたみたい。自分の

ペースで7デッキをゆっくり歩きながら、太陽が登っていくのを眺める。ふと立ち止まって、波の向こうを眺めると、船と並んでカモメが飛んでいる。どこへ向かってるのだろうか。

朝食が終わると、何をするのでもなくパームコートソファに座ってまた海を眺める。コーヒを飲みながら読書をしている人もいれば、日記をつけている人もいます。いつもならこの時間何をしてたのかな？ 日常は時計と一緒に置いてきたようだ。何もしない自由、飛鳥IIにはゆつくりと時間が流れている。



CRUISE INFO

ゴールデンウィーク サイパン・グアムクルーズ

2019年4月26日(金)～5月6日(月・休)

■ 旅行代金
520,000～2,620,000円

■ 早期申込割引代金
442,000～2,227,000円
※2019年1月11日(金)までにお申し込みいただくと適用されます。

1	4/26	金	19:00	東京発
2	4/27	土	終日クルージング	
3	4/28	日	終日クルージング	
4	4/29	祝	終日クルージング	
5	4/30	火	07:00 17:00	サイパン着 サイパン発
6	5/1	水	08:00	グアム着
7	5/2	木	17:00	グアム発
8	5/3	祝	終日クルージング	
9	5/4	祝	終日クルージング	
10	5/5	祝	終日クルージング	
11	5/6	月・休	07:00	横浜着

※祝日は2018年10月31日時点のものです。今後、変更になる可能性があります。

子供代金キャンペーン

2019年4月26日の年齢が2歳以上12歳以下(小学生まで)のお客様はお得な子供代金が適用されます。

ベビーシッタールームと キッズルームを開設します

※詳細は総合パンフレットや郵船クルーズのホームページをご覧ください。



SPECIAL STAGE

岩崎宏美&国府弘子スペシャルステージ



日本を代表する歌姫、岩崎宏美さんとジャズピアニスト国府弘子さんの息の合ったステージをお届けします。お二人のハーモニーが数々のヒット曲に新たな輝きを与えます。

SAIPAN & GUAM

寄港地サイパン、グアムでは ショッピングやビーチを満喫



南国リゾートならではの楽しみがいっぱいのサイパンとグアム。ショッピングはもちろん、美しいビーチも魅力です。透明度の高い海ではグラスボートやダイビングなども楽しめます。



クルーのオススメ
航海日を一緒に
楽しみましょう!
中村 祥 クルーズスタッフ

せっかくの大型連休なので、ご家族で乗っていただきたいですね。行きと帰りに3日間ずつ、終日航海日があります。お天気もよいので日中は様々なアクティビティで楽しんでいただきたいです。お子様も乗船されると思うので、デッキで楽しめるイベントを計画中です。

周りに何も無い大海原を航海していると、日本周辺の海域とはひと味違う光景に出会えるかも知れません。果てしなく続く紺碧の海、海面をキラキラと照らす太陽、圧倒されるほどの星がまたたく夜空、クルーズならではの魅力がたっぷりです。

なかむら・さき 東京都出身。航海士を目指し海洋大学を卒業。お客様と直に接する機会の多い職種を志望し、15年4月からクルーズスタッフとして飛鳥IIに乗船。休暇中は飛鳥IIで訪れて好きになった海外寄港地を、陸から再訪している。



船は

大海原を進み 夜は輝きを増す

クルーズでもっとも非日常を感じられるのはダイナーの時間だと思ふ。フォーマルナイトに着飾って夜を過ごすのはやはり楽しい。ダイナーの前にピアノバーのカウンターに寄ってみる。すると、バーテンダーが好みのドリンクを覚えていてくれた。「お帰りなさい」と、私の好きなカクテルを出してくれる。

夜は大人だけの時間、ダイナーの後はプロダクションショーを見たり、カジノでカードゲームを楽しんだり。今夜は二人でクラブ2100のダンスタイムにも行ってみようかな。

なんだか夜の過ごし方も様になってきたようだ。もう長い間船に乗っているような気さえない。いつまでもこの夜が終わらないで欲しい。そんなことを思ったのは何年ぶりだろう。大海原をゆく飛鳥II、その夜はいつも輝きを増していく。



NIGHT and Day

**こだわったのは
食材が料理に
なるまでの最短距離**

昨年の秋に、飛鳥IIから今回のお話があったときは、すぐに「行きます！」と答えました。行き先を聞いたら小笠原だということで、さらに嬉しくなりました。まずは、停泊中の飛鳥IIの調理場を見せてもらって、メニューのアイディアを練りました。その後、体験乗船して、盛り付けのタイミングなどを実際に見せてもらいました。そこからメニューを修正したり、旬の食材を確保するために早めに発注をしたり。乗船まで半年がかりのスペシャルディナーになりました。

一番気になったのは、私の担当するディナーが出港から5日目だったことです。横浜から小笠原までの間、途中で積み込むことはできません。特にサラダに使う葉物野菜などの食材が、本当にベストコンディションを保てるのかなというのが心配でした。

1回目と2回目のお食事それぞれで400人分のディナーを用意します。最初のお客様から、最後のお客様までどうしてもタイムラグがある。それでもタイムラグがある。それをいかに短縮できるか。これはいかに食材が料理に変わるまでの最短距離です。できたてのおいしさを味わっていただきたい。サラダも時間がたつと野菜から水分が出てきてしまいます。料理が運ばれてきたときに香りを楽しんでいただきたいですし、きれいな焼き色が抜けたりしてもいけないので、直前に焼き色を付けました。



飛鳥IIのギャレー(厨房)で腕をふるった植竹シェフ

普段は小さなフライパンで一人前ずつつくっていたのが、飛鳥IIだと一度に400人分

Photographs:Tetsuya Oomuro



です。厨房も広いし、働いている人の数もすごいし、とにかく圧倒されました。飛鳥IIのシェフとも連携して、大きなブレもなくご提供できたいと思います。

**人生初めて
づくしの
小笠原クルーズ**

800人のディナーをつくるのは人生初体験でした。お客様にご挨拶するために、調理場からダイニングへ入ったときに、音だけでこれはよい方向にいているかと、瞬間的に分かりました。笑い声があったり、乾杯のグラスの音がしたり……。後ろの方の席まで、いい雰囲気だなと感じ取れました。ディナーが終わってから、出口でお見送りをしました。握手してもらったり、一緒に写真を撮ってもらったり、お客様の反応はすごくよかったです。

お客様はとてもやさしい方ばかりですね。今回、私は妻と小さな子どもを二人連れて乗船していたのですが、ちょっ

とぐずったりしても「大丈夫よ」と声をかけてくださった。子どもたちも相手をしてもらえるから、すっかりなついてしまってます。



小笠原に行ったのも人生初だったのですが、やはり海の色が違いますね。本当に感動しました。行く前から予約をして楽しみにしていたのがウミガメ料理です。食材としての興味があったので、刺身や煮込み、どんぶりも母島の塩味系と父島のしょうゆ系の二種類を食べました。子どもたちとは父島の公園や海辺で遊んだり、飛鳥IIの船内でデッキを散歩したり、ラウンジで

ケーキを食べたり。特に気に入ったのはリドガーデンですね。子連れでも気兼ねなく楽しめる場所だと思います。

また、ぜひ飛鳥IIに乗船したいです。食材があるところなら、どこへでも行きますよ。あ、食材がないところでも、南極でもどこでもね！
(笑)

※2018年7月「小笠原クルーズ」中のフォーシーズンダイニングルームで。



Takamasa Uetake

「リストランテ カノビアノ」のオーナーシェフ。日本における自然派イタリアンの第一人者。ニンニクや唐辛子、バターやクリームなど動物性油脂を極力使用せず、オリーブオイルや野菜など自然の味わいを大切にしている。京料理のやさしい味わいに感銘を受けたことをきっかけに、野菜を中心に国産の食材を多く使用した上質で身体にやさしい健康的なイタリアン料理を提供し続けている。

My Favorite
ASUKA CRUISE INTERVIEW

植竹隆政さん



飛鳥Ⅱの夜を彩る新作ショーの舞台裏

マジシャンTAKUYAによる新作イリュージョンと、和を感じさせる新作ショーがこの夏から始まりました。まだご覧になっていらっしゃらない方も、もうご覧になった方にも、プロダクションショーの裏側を少しだけお見せしましょう。

飛鳥Ⅱでしか見られない 日本初の本格マジック

3年ぶりの新作イリュージョン「アナザーワールド」は、飛鳥Ⅱ専属マジシャンのTAKUYAの意見をふんだんに取り入れて制作された本格的なイリュージョンマジックショーです。レトロでありながら未来的な雰囲気、気の漂う異世界の中で繰り広げられるマジックの数々。日本で初めて導入されたマジック装置がいくつも登場して、お客様を驚きの世界へ誘います。

しかし、そのマジック装置が、実は裏方泣かせなのです。びっしりとメタルの装飾が施さ

れた大きくて重厚感のあるマジック装置は迫力たっぷりですが、なにしろステージ映えします。ところが、一場面ごとにそんな大きな装置を舞台の裏ではすばやく出し入れしなくてはなりません。しかも、ギャラクシーラウンジの舞台裏は限られたスペース。舞台監督を任されているテクニカルディレクターは初演ギリギリまでどうやって装置を出し入れするか、ショーのな

いはすべての装置を船内のどこに収納しておくか、頭を悩ませたそうです。 今回の作品は世界観を大切に、ショー全体を通して統一感のあるマジックショーを目指し

ました。細かなところまで凝った数々の衣装に、こだわりの照明。ラスベガスの制作会社へ2回にわたって足を運び、約1か月間スタジオにこもってリハーサルを続け、時には演出家と激しく意見を戦わせながら「TAKUYAが最後までこだわってつくりあげました。皆様をあつと驚かせるマジックの連続です。どうぞしっかりと、舞台から目を離さずご覧ください。

和の要素を取り入れた 四季を感じさせるショー

新作「フォー・シーズン」はその名の通り、日本の四季の移り変わりを表現した作品です。

「以前から、日本的な要素を盛り込んだプロダクションショーがつかれないかと考えていました」と話してくれたのは増田クルーズディレクターです。 モチーフとなっているのは、季節ごとの美しい時間帯について繊細な文章で綴った『枕草子』の冒頭部分です。「日本人の持っている美意識や季節に対する共通の感覚を、日本の曲だけでなく海外の曲も使ってイメージさせたいと考えました。これまでのプロダクションショーのスタイルに和の要素を加えることで、どのような化学反応が起きるのか。日本船である飛鳥Ⅱでしか生まれないショーになった

と思います」 プロダクションショーの制作を長年手がけているのはラスベガスの制作会社です。社長兼演出家のゲイルさんは、増田クルーズディレクターから渡された英語版の『枕草子』を読んで、今回のショーを演出したとのこと。さて、お客様はショーをご覧になってどのような印象を持たれるのでしょうか。海外の楽曲の中にふと挿入される日本のメロディー、移り変わる四季の中で大切な方と過ごす美しい時間を思い描いていただければと思います。



ハラハラ、ドキドキさせられる「アナザーワールド」目をこらして見ていたはずなのに、一体どうなっているの？



プロダクションショーに和の要素を取り入れた「フォー・シーズン」は四季を表現する美しい衣装も魅力。

お客様の驚きの拍手に手応えを感じています！

前作はダンスショーの中にマジックの要素が入っている感じだったのですが、今回の新作は本格的なマジックです。終わったときの拍手が全然違いますね。お客様がマジックに本当に驚いて拍手をしている。すごく手応えを感じています。マジックはもちろん、衣装や照明などの細かいところにもこだわった作品です。独特の異空間の雰囲気、たつぷりとひたつってマジックを堪能してください。



マジシャン TAKUYA

15年より飛鳥Ⅱの専属マジシャンとして乗船。長年修行を続けている古流柔術は日本代表として海外からも招聘される腕前。



船内ではトークマジックでもお客様を魅了。



シンガーのミーガンとクリスはサウンドチェックでも息ピッタリ。



アダージョダンサーたちもリフティングの動きを再確認。



ショーの前に、キャスト全員でそろってストレッチをします。



舞台横に表示される字幕もショーごとに制作しています。



新作プロダクションショーのために100着以上の衣装が制作されました。



メイクをしている椅子の上には着替える順番に衣装が重ねてあります。

毎年人気のお祭りクルーズ
日本の夏を楽しみつくした5日間

飛鳥Ⅱの夏の定番と言えば、夏祭りクルーズ。日本各地の有名な夏祭りや花火大会を訪ねるクルーズを多数ご用意しています。今回は25年連続で実施している阿波おどりクルーズをレポートします。

踊る阿呆も、見る阿呆も
熱狂の渦の中へ

お盆休みとも重なるこのクルーズ、三世代で飛鳥Ⅱに乗船されているご家族が数多く見受けられました。夏休み中のクルーズの多くはキッズプログラムも充実。子どもたちはキッズルームで新しいお友だちができたり、大人たちは船内プログラムに参加したり、のんびりと過ごしたり……。世代ごとに思い思いに楽しめるのもクルーズの魅力です。

さて、阿波おどりクルーズでは、お客様とクルーが「飛鳥連」を組んで会場へ踊り込むオプショナルツアーが人気です。今回、25年目にして過去最高の90名のお客様が踊り込み体験ツアーに参

加されました。

毎年、指導してくださっている「うきよ連」の皆さんに船内で踊りを習い、かけ声も練習します。そのいの着物をびしっと着付けてもらったなら、いざ会場へ出発です。

市役所前演舞場では通り抜けるのに15分ぐらいかかるから、がんばって「うきよ連」の方に声をかけられ緊張気味のお客様。しかし、2拍子の囃子が鳴り、踊りが始まれば時間など忘れてしまいます。副船長や機関長、クルーズスタッフ、プロダクションキャストなど24名のクルーたちも一緒になって、飛鳥連を盛り立てます。会場で応援するお客様も大興奮。まさに祭りの一体感を感じました。

目の前に
打ち上げられる
迫力の大火火に感動

阿波おどりの興奮も覚めやらぬうちに、高松港へと到着した飛鳥Ⅱ。昨夜踊り疲れた大人たちとは反対に「今日は花火も縁日もあるね」と子どもたちは朝からウキウキしています。

夕方になると、見慣れた飛鳥Ⅱのプールサイドが縁日の会場に早変わり。射的、輪投げ、ヨーヨー釣りなどのゲームでお孫さんたちに腕前を披露するおじいちゃんも。ラムネや綿あめなども大人



1

気です。そして、夕日が沈み夜空に星が見え始めると、花火大会の始まりです。スカイデッキに並べられたイスに腰掛け、手にはビールやおつまみを持って準備は万端です。約8千発の花火大会と聞いて、少しあなごっていた方、いらっしゃると思います。ところが、飛鳥Ⅱの停泊する岸壁の真正面から打ち上げられる花火の近いこと。散った花火が船の上に降ってくるのではと思うほどの大迫力で次々と打ち上げられる様子は圧巻でした。まさに、これぞ日本の夏という、夏休みにぴったりのクルーズでした。

- 3 大人も子どもも楽しんだ飛鳥Ⅱの縁日
- 4 気がつけば、大人たちの方が夢中に
- 5 25年連続奇港の小松島港では阿波おどりのお出迎え
- 1 高松港の花火と飛鳥Ⅱ
- 2 飛鳥連の登場に観客席は大興奮

2019年夏
夏祭りや花火を楽しむクルーズ

- 竿燈・ねぶた祭クルーズ 7日間 ㊦
8月3～9日 396,000～1,994,000円
- 伊東花火クルーズ 3日間 ㊦㊧
8月9～11日 138,000～692,000円
- 阿波おどり・高松花火クルーズ 6日間
8月11～16日 300,000～1,510,000円
- 鳥羽・熊野大花火クルーズ 4日間 ㊦㊧
8月16～19日 208,000～1,040,000円

表示の代金は通常の旅行代金です。
㊦早期申込割引代金の設定がございます。㊧子供代金の設定がございます。詳しくは総合パンフレットやホームページをご覧ください。



5

4

3

2